

営大通信

第 49 号

令和 4 年 7 月 1 日

発行 青森県営農大学校興農会
会長 小川 広徳
青森県営農大学校後援会
会長 下山 一久

青森県上北郡七戸町字大沢48-8
TEL 0176-62-3111

校長あいさつ



校長 長内 明人

この度、県の定例人事異動により営農大学校長を命ぜられた長内と申します。これまで普及指導員として4日クラブ員や新規就農者の指導に携わった経験はありますが、営農大学校や教育現場での勤務は初めてとなります。

今年4月、数年ぶりに訪れた営農大学校は、長寿命化整備計画の下、管理研修棟や生活棟が改修され、農具庫や農場管理棟も新築されました。この恵まれた学習環境の中で、若くエネルギーに満ちあふれた学生と接することに新鮮な喜びを感じているほか、本県農業の多様な人財を養成していかなければならないという使命感を新たにしているところです。

さて、本校は、地域農業の中核的担い手となり得る農業経営者及び地域農業を支える多様な人財の養成を目的としている県内唯一の専修学校として、より実践的な農業の研修教

育を行っています。時代の変化や地域のニーズに応えるため、令和2年度から6次産業化コースを開設し、マーケティングや関連科目の拡充・強化に取り組んでいるほか、ロボットトラクターや農業用ドローン等を活用したスマート農業の推進にも取り組んでいます。

しかし、コロナ禍に見舞われたこの2年間は、貴重な学習の機会や交流を深めるための行事が失われた場面も少なくありません。今後はコロナ後の学校運営のあり方を見据えながら、学生の安全を最優先に、十分な学習・生活環境が得られるよう努力して参りたいと考えています。

最後に、本校へ入学した学生が、「実践」「創造」「友情」の校訓の下、しっかりとした目的意識と「自ら学ぶ」という気概を持って勉学に励み、実習や自治会活動を通じて仲間と切磋琢磨し、青森県農業を担う人財へと成長していくよう教職員一丸となって指導して参りますので、保護者並びに関係者各位の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

後援会長あいさつ

この度、営農大学校の後援会長を務めさせていただくこととなりました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、様々な活動の自粛規制が続く中ではありますが、本年度も本県農業を担う、若さと情熱にあふれた44名の新生を迎えることができ、誠に喜ばしい限りです。

後援会としても学生達を温かく見守り、指導職員や興農会とも協力して営農大学校を応援していきたいと思っておりますので、皆様の御支援と御協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。



後援会長
下山 一久

令和4年度入校式

令和4年4月7日、第43回青森県営農大学校入校式が行われ、青山副知事をはじめ、来賓、保護者が見守る中、畑作園芸課程24名、果樹課程14名、畜産課程6名、総勢44名の入校生がこの日を迎えました。

長内校長は式辞の中で、「自ら目標を設定し、実現に向けて日々努力し、また、多くのことにも挑戦し、失敗も糧にしながら、大いに学んでください。また、成年年齢引き下げにより、大人として扱われます。普段の生活においても、自らの



長内校長式辞

意志と判断による責任ある行動が求められることも忘れないでください。」と激励しました。

入校生を代表し、畜産課程1年の對馬丈嗣さんが、「授業だけでなく、将来について語り合い意見しあうことで青森県農業

を支える志を育て、一生の仲間をつくる学び舎にしていきたい」と抱負を述べました。



新入生代表の對馬さん

在校生を代表して、畑作園芸課程2年の秋元海慶学生自治会長からは「様々な人との出会いを大切にしながら、多くのことを経験し、自分の可能性を広げ、一緒に成長していきましょう」と歓迎のことばがありました。



在校生代表の秋元自治会長

あおもり農力向上シャトル研修開講

新規就農希望者と就農間もない新規就農者を対象とした「あおもり農力向上シャトル研修」の開講式を5月10日に行いました。

この研修は、就農予定地の先進農家で研修を進めながら、営大で行われる講義や機械研修等を受講し、実践的な農業技術や作物の基礎的知識を身につける「シャトルコース」と、新規就農者等が知識や技術の学び直しを行う「リカレントコース」の2つのコースからなっ

ています。

本年はシャトルコースに5名、リカレントコースに4名、合わせて9名の受講者が開講式に臨み、研修を開始しました。

シャトルコースの受講者は来年2月までの10か月間、農家研修や講義をとおして、様々な経験を積み重ね、実践的な知識や技術を身に付けます。



シャトル研修開講式



月2回開催の野菜1DAYセミナー

メロン栽培における支柱打ち込み及びトンネル張りの機械化による省力化

畑作園芸課程卒業 加藤雄己さん

メロンのトンネル栽培では、支柱打ち込み及びトンネル張りを複数名による手作業で行っている事例が多いですが、近年、高齢化に伴い労働力確保が難しくなっています。

そこで、支柱打ち込み及びトンネル張り作業の機械化による省力化を検討しました。

トンネルマルチ支柱打込機は、藤木農機製作所のTP-150を使用し試験した結果、支柱打ち込み及びトンネル張りに要する労働時間は手作業の約3分の1で済み、作業人数も大幅に減らすことができました。しかし、今回使用した支柱のダンポールは、強風で緩む可能性が示唆されており、強風地帯で利用できるか、また、U字管と支柱打込機の組み合わせなど、引き続き検討していく必要がありました。



支柱打込機によるトンネル張り

りんご園のスマート農業～ロボット草刈機の実用性の検討～

果樹課程卒業 佐藤郁人さん

農家の負担軽減につながるロボット草刈機（和同産業株式会社 KRONOS MR-300）が導入され、プロジェクト研究で検討しました。※お掃除ロボット「ルンバ」をイメージしてください。

3,300㎡と3,100㎡の2園地を交互に約1週間～10日ずつ交代し、9～17時で6月～8月まで稼働しました。

この条件では草が伸びすぎるとロボット草刈機の負担が大きく稼働時間が短くなり、刈り残しが見られました。24時間稼働することにより常に5cmくらいの草丈を維持でき、自動で草を刈ってくれることから、労力や時間がかからず、草刈り作業を省くことができると考えられます。現状の価格では現在広く使用されている乗用草刈機が有利と考えられますが、労働力が不足していく中で発展が期待されます。

スマートフォンで指示。本体と充電ステーション



プロジェクト学習の紹介

課題解決能力の習得を目的に令和3年度2学年が取り組んだ特徴ある学習内容を紹介します。

ハズバンドリートレーニングによる乳牛の調教

畜産課程卒業 安田悠人さん

家畜の飼養において、作業者の安全を確保することは重要です。また、同時に家畜にストレスを与えないことも必要です。そこで、搾乳作業を嫌がり、抵抗する牛に、ストレスを与えずに抵抗をやめさせるため、動物園や水族館などで飼育動物に行われているハズバンドリートレーニングを利用し、調教を試みました。

指導を受けた動物園の方に倣い、犬笛を合図に使い、ご褒美のための餌を選定して、20日程度搾乳時に訓練を行ったところ、訓練前後で明らかな違いが見られました。訓練は、合図とご褒美のタイミングが難しかったり、牛が訓練する人としらない人を認識し、抵抗を示すなど要領や方法に課題は残りましたが、乳牛にハズバンドリートレーニングを応用することは、十分可能であることがわかりました。



秋田市 大森山動物園にて

青森シャモロックの卵を使った加工品開発

畜産課程卒業 工藤友美さん

青森県を代表する地鶏「青森シャモロック」の知名度向上を図るため、青森シャモロックの卵や肉を加工・販売している県内企業の株式会社グローバルフィールドと連携し、すでに商品化されているプリン（プリン）の姉妹品を開発することになりました。

さらに、企業と検討を重ねた結果、知名度を上げるためには、味がおいしく、見栄えのよい商品を作るようになったため、プリン液の下に敷くソースの材料に、発色のよいトマトを使用することで、ねらいどおりの商品を企業に提案することができました。



試作品のプリン



連携企業との打合せ

7月8日「ダイちゃんの店」オープン

校内定期直売実習は、学生が消費者との対面販売を通じて農産物直売のノウハウを身につけることを目的に、農産物直売所「ダイちゃんの店」として行っており、本年度で12年目になります。

今年度は7月から12月までの計6回開催予定です。販売品目は、トマト、きゅうり、だいこん、ごぼう、ながいも、ぶどう、りんごなどを予定しています。当校自慢の野菜や果物をお楽しみください。



学生たちが一生懸命作った農作物です！

農産物直売所「ダイちゃんの店」

回数	期日	時間	整理券配付
第1回	7月8日(金)	13:15~14:30	11:00~ (校舎正面にて)
第2回	9月2日(金)		
第3回	9月16日(金)		
第4回	10月7日(金)		
第5回	11月25日(金)		
第6回	12月11日(日)	9:00~12:00	配付なし

※日程はHP
(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/daichan.html>)
で確認できます。

場所 校舎正面等(雨天時は体育館等の校内で実施)

新任職員紹介

校長



長内 明人

総務課



八戸 悠真

教務研修課



佐々木祐一



関 みち子



坂本 清

農産園芸課



小島 一之



土嶺 康憲



松浦 孝幸



杉田 晃一



転出・退職

(校長)
比内 一道

(総務課)
小山内洸介

(教務研修課)
成田 真樹
渡邊 智雄
伊藤 和彦

(農産園芸課)
佐々木和也
浅利 欣一
西館 敦子
中村 昌也

行事予定

◎8月1日~9日の平日

オープンキャンパス

◎10月29日(土)・30日(日)

営大祭(8:30~正午まで)

農産物販売(野菜・果物・牛肉・加工品を予定)